

令和5年度

(数学) 授業計画表

教科名	科目名	単位数	学年・講座	教科書名(発行所)
数学	数学Ⅱ	2	3年1組I型	改訂版 新 高校の数学Ⅱ(数研出版)
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切に、分かってもらう意欲を持つ。 2 分からない所や内容を放っておかないで、聞いたり質問したりしてその日のうちに解決しよう。 3 数学Ⅰの内容等の既習事項をしっかり復習しておこう。 4 考査前や長期休暇等の課題、提出物は期限を守り提出しよう。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数の考え方に興味をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。				
	授 業 内 容	時間数	学 習 の ポ イ ン ト	
学 期	[就職問題集]			
	第1章 比と歩合	4	○割合のいろいろな表現方法を理解し、問題が解けるようになる。	
	第2章 数と式の計算	3	○複雑な四則計算のやり方を理解する。 ○無理数の計算、因数分解ができるようになる。	
	第3章 一次方程式と一次関数	3	○一次方程式、連立方程式が解けるようになる。 ○変数Xを利用して、文章題が解けるようになる。	
	第6章 2次方程式と2次関数	3	○2次方程式が解けるようになる。 ○2次関数の基本問題が解けるようになる。	
	<中間考査>			
	第7章 不等式	3	○変数Xを利用して、文章題が解けるようになる。 ○一次不等式、2次不等式が解けるようになる。	
	第8章 三角比と三角関数	3	○三角比の基礎問題が解けるようになる。	
	第11章 場合の数と確率	3	○順列、組み合わせの考え方をを用いて、確率の計算が出来るようにする。	
	<期末考査>			
第4章 図形	5	○辺の長さ、角度、面積の問題が解けるようになる。		
第12章 その他SPI頻出問題	5	○数的推移の問題の考え方を理解する。		

二 学 期	第13章 総合問題	6	○問題演習を通して、考える力を付ける。
	[数学II] 第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数	9	○指数法則の拡張や累乗根を理解する。 ○指数関数のグラフの特徴と性質を理解する。 ○指数関数を含む方程式、不等式を理解する。
	〈中間考査〉 第2節 対数関数	9	○対数の定義や性質を理解する。 ○対数関数を含む方程式、不等式の解法を理解する。 ○常用対数について理解する。
	第5章 微分法と積分法 第1節 微分法	9	○平均変化率の区間的な意味を理解する。 ○導関数の定義を理解する。 ○極大値、極小値を調べ、関数のグラフがわかるようになる。
三 学 期	〈期末考査〉 第2節 積分法	11	○不定積分、定積分の定義を理解し、計算ができる。 ○定積分を利用して面積を求めることができるようになる。
	問題演習	17	○数学IIの総復習をする。
	〈学年末考査〉 家庭学習	12	
	総時間数	105	